



株式会社 **JALUX**

(東証1部：銘柄コード2729)

〒140-8638 東京都品川区東品川2-4-11

TEL 03-5460-7109(株式チーム) 03-5460-7233(戦略企画・IRチーム)

[www.jalux.com](http://www.jalux.com)



2009年12月発行

第**49**期

**JALUX REPORT**

第2四半期(累計)事業報告 2009年4月1日～2009年9月30日

Topic\*01 2009.9

## 介護付有料老人ホーム 「JALUX グッドタイムホーム・多摩川」オープン！！

ヒューマンサービスを重視した介護付有料老人ホームの第三号施設「JALUX グッドタイムホーム・多摩川」をオープンいたしました。

多摩川緑地にも程近い自然環境に恵まれたエリアで、高齢者の住まいとして厳しい基準をクリアした洗練された施設を通じて、ホスピタリティ溢れる充実したケアサービスをご提供いたします。

株式会社 JALUX ライフデザイン <http://www.jalux-lifedesign.com>  
お問い合わせ・資料請求は ☎0120-32-9006



Topic\*02 2009.9

## エノテカ(株)との業務提携により 多彩なワインビジネスを 展開します。

本年9月、ワインビジネスのさらなる進化・発展を目的に、ワインの輸入・卸売、直営店「ワインショップ・エノテカ」でのショップ展開など、日本を代表するワイン専門輸入商社であるエノテカ株式会社と業務提携契約を締結いたしました。



たとえば…  
空港内で  
ワインショップを  
展開

たとえば…  
エノテカのお店で  
JALUXのブランド  
ワインを販売

**ENOTECA**  
For All Wine Lovers

Topic\*03 2009.5

## 長崎空港旅客ターミナルビル 「BLUE SKY」オープンで、 ますます便利になりました。

売場面積約50㎡、九州地区において7空港目の出店となり、空港店舗「BLUE SKY」のネットワークがさらに充実いたしました。人気の空スイーツ「唐芋レアケーキカプレス」や地元長崎をはじめ、地方色豊かな九州のお土産を取り揃えて、皆様のご来店をお待ちしております。



代表取締役社長  
田島 伸一

### 2010年3月期第2四半期の概況

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

当第2四半期におけるわが国の経済は、経済対策の効果などにより一部持ち直しの兆しが見られたものの、雇用・所得環境の悪化による消費低迷が継続しており、依然として厳しい状況が続きました。それに伴い当社ビジネスの主要マーケットである航空関連事業およびリテール関連事業の市場環境は、想定以上に厳しい状況で推移しました。

このような環境の下、当社グループの事業概況といたしましては、B to B ビジネス(主に事業会社向け事業)において、市場環境悪化による需要減退に伴い、航空関連事業の収益が大きく落ち込んだことなどにより、売上・利益ともに前年実績を下回る結果となりました。B to C ビジネス(主に消費者向け事業)においては、フーズ・ビバレッジ事業が増収を確保したものの、航空旅客数の減少および節約志向の高まりや消費低迷の影響を受けて、機内販売事業や空港店舗事業などが低調に

推移し、同じく減収減益となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は51,017百万円となりました。損益面では、経費支出の徹底圧縮に努めたこともあり、第2四半期連結会計期間においては営業利益を計上いたしましたが、第1四半期の損失を補うまでには至らず、第2四半期連結累計期間では営業損失169百万円、経常損失277百万円、四半期純損失204百万円となりました。

### 通期業績の見通し

第2四半期までの業績、ならびに下期につきましても厳しい事業環境が続くという見通しを踏まえ、当社では下期における通期業績の回復を目的に、経費節減を中心とする短期的緊急業績対策に取り組んでまいりますとともに、2010年度以降の中長期的業績の向上および、成長に向けた重点事業強化と企業体質強化を骨子とする抜本的事業構造改革を実施いたします。

これにより、通期の業績見通しは売上高106,000百万円、営業損失500百万円、経常損失600百万円、また事業構造改革の実施により特別損失が発生するため、当期純損失は1,400百万円となる見込みです。また2010年3月期期末配当予想につきましても誠に遺憾ながら前回予想の1株当たり20円から10円減額し、1株当たり10円に修正させていただきたいと存じます。

株主の皆様には多大なるご心配・ご迷惑をお掛けいたしますが、これらの取り組みを不退転の決意で実行することにより、来期以降における業績の確実な回復と成長を実現してまいり所存ですので、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



これまで培った専門ノウハウやナレッジを基盤として着実な収益力向上へむけた取り組みを続けています。

**Q** 社長就任から3ヵ月を振り返ってみていかがですか？

**A** 2002年の上場以来、右肩上がり成長を続けてきたものが08年度で一服していたところに、今回の世界同時不況および航空業界の需要低迷が重なり、厳しい経営環境での船出となりました。またこのたびは業績を下方修正することとなり、株主の皆様には大変ご心配をお掛けしていますが、一方でこのような過去の経験則が生かしくい環境であればこそ、大胆なビジネスモデルの変革を図れるわけで、これをきっかけと前向きに捉えて、変化を恐れずチャレンジを続けてゆきたいと思っています。大局的な視点をもってこの難局に立ち向かい、乗り越えていこうと社員をリードしていくことが社長としての私の大きな務めであると考えています。

**Q** 現在の市場環境ならびに上期の業績をどのように捉えていますか？

**A** 当社グループは、航空関連事業を基幹の事業基盤とする一方、中長期的な成長を目指し事業領域の拡大を推進してきましたが、急速な景気後退や航空旅客需要の大幅な減退などを受けて予想以上に厳しい状況となっています。

今上期の業績を総括すると、数年前より将来の成長ドライバーとなりうる事業を創出すべく戦略的な多角化ならびに計画的な事業インフラの整備などを進めていたことが、一方では人材面や事業投資などの経営資



源の分散化につながり、またそれらの取り組みを通じて増加したコストを、結果として今回のような急速な市場悪化の下で負担しきれなくなった、と捉えています。

**Q** では、業績回復に向けた課題とは？

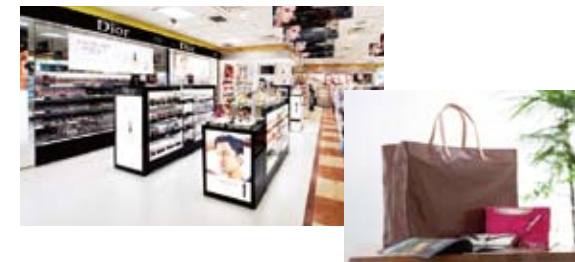
**A** 大きく2つのポイントが挙げられます。1つ目は経営資源の集中による「重点事業の強化」です。JALUXの特長である航空系商社としての強みを活かした「航空・空港関連ビジネス」、また生活提案企業として従来より注力してきた「リテール(個人のお客様向け)ビジネス」へ経営資源を重点的に投下してまいりたいと思います。

その一方で、JALUXグループの強みが発揮されず事業モデルが確立されていない収益性の低い事業については、速やかに撤退・縮小を行います。

2つ目は事業コストの抜本的な見直しによる「企業体質の強化」です。現状のような売上高の拡大が望めない環境下でも一定水準の利益を確保できる収益体質へと転換するため、物流コストの削減や人員の適正化な



ど、今年度中に抜本的なコスト構造の見直しを図り、来期以降の業績の回復を目指します。



**Q** 収益拡大策と成長戦略についてお聞かせください。

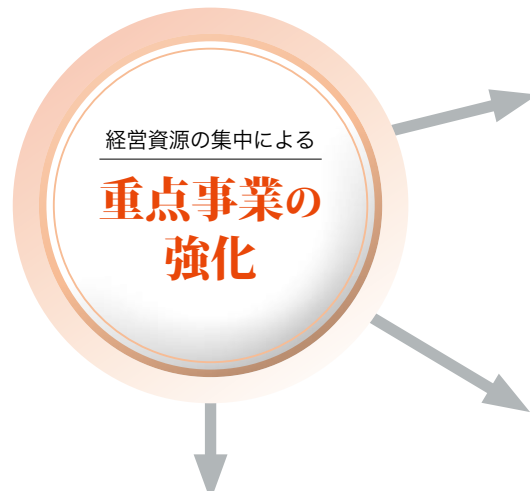
**A** 具体的には、航空機部品事業、小売店舗・卸売事業、通信販売事業を「重点事業」として収益拡大の柱に位置づけます。

航空機部品事業では、JALUXグループの海外ネットワークを活かした航空機部品の調達・物流機能のさらなる進化とともに、セールス面ではファイナンス機能やITなどを活用した付加価値の高い航空機部品ビジネスモデルの提供で収益アップを目指します。

小売店舗・卸売事業では、抜本的な収益構造の改革とあわせて、「機内販売」・「通信販売」・空港店舗「BLUE SKY」・空港免税店「JAL-DFS」を一体的かつ体系的に連動させたセールスプロモーションの展開などを通じて持続的な成長を実現します。▶


☒ 通信販売事業については、食品ギフト事業との社内インフラの共有化や重複業務の集約・統合などによるコスト削減とともに、今後成長が見込まれるWeb・モバイル通販への取り組み強化や、M&A(事業等の買収)を含めたダイナミックな事業展開を目指しています。

なお、上記の重点強化事業の売上高合計は、2008年度実績では約650億円で、当社連結売上高の約60%を占めていますが、これらの施策により中期的な目標として当該事業合計で売上規模1,000億円を目指してまいりたいと考えています。



**航空機部品事業**

- 海外ネットワークを活かした航空機部品の調達・物流機能の進化
- ファイナンス機能やITなどを活用



**Q JALの経営問題がクローズアップされています。**


**A** 当社は㈱日本航空(JAL)の関連会社であり、JALグループ企業に対してさまざまなビジネスを展開しています。ちなみに昨年度の当社売上高に占めるJALグループとの直接取引の割合は約24%となっています。JALグループの動静は当社としても気になる点ではありますが、目下のJALUXに課せられているのは、独立した上場企業として自ら取り組むべき課題を克服す

**小売店舗・卸売事業**

- 卸から小売りまでのバリューチェーンを構築
- 「機内販売」・「通信販売」・空港店舗「BLUE SKY」・空港免税店「JAL-DFS」を一体的かつ体系的に連動



**通信販売事業**

- 食品ギフト事業との社内インフラの共有化や重複業務の集約・統合などによるコスト削減
  - Web・モバイル通販への取り組み強化
  - M&A(事業等の買収)を含めたダイナミックな事業展開
- 

るとともに、双日グループとの事業連携を深めながら「良いサービス・商品を競争力のある価格で提供する」という基本を徹底し、JALグループの動きを含めた当社を取り巻く事業環境の変化に左右されない強固な収益体質を作り上げることでありと認識しています。

**Q 株主に対する利益還元はどのようにお考えですか？**

**A** 当社は、株主の皆様への安定的な利益還元を経営上の重要な事項と位置づけ、業績および将来の事業展開に備えた内部留保の確保も総合的に勘案しながら、安定的かつ継続的に配当を実施することを基本方針としています。

今期末の配当予想につきましては、抜本的な事業構造改革の実施に伴い特別損失の発生が見込まれるため、遺憾ながら1株当たり10円の配当とさせていただきたいと存じますが、これら事業構造の改革を通じて、強靱な収益体質を確立し来期以降の収益回復を果たしてまいりたいと考えています。一方、株主優待商品券については、当



社へのご理解を深めていただく一助になるものとして引き続き実施してまいります。



**Q 最後に株主の皆様へのメッセージをお願いします。**

**A** 今期は上場来初めての赤字決算となる見通しですが、少しでも赤字幅を小さくできるよう全社を挙げて取り組んでまいりますとともに、次なる成長ステージに向けた「試練」の時として前向きに捉え、新たな飛躍への足場固めを着実に実行してまいりたいと思います。またJALUXグループは2012年3月に創立50周年を迎えることとなりますが、「幸せづくりのパートナー」の企業理念の下、航空関連ビジネスを基点としたクオリティの高い付加価値の提供を通じて、皆様の旅と暮らしに貢献してまいりたいと考えています。株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

# 業績の概況

(要旨)※単位:百万円、単位未満切り捨て

REVIEW OF OPERATIONS

## ■決算総括

	当第2四半期 2009年4月1日～ 2009年9月30日まで	前第2四半期 2008年4月1日～ 2008年9月30日まで
売上高	51,017	57,492
営業利益	△169	907
経常利益	△277	987
四半期純利益	△204	410
	当第2四半期 2009年9月30日現在	前 期 2009年3月31日現在
総資産	41,492	42,899
純資産	15,050	15,702

## ■業績全般の状況

当第2四半期連結累計期間の売上高は51,017百万円となりました。損益面では、経費支出の徹底圧縮に努めたこともあり、第2四半期連結会計期間においては営業利益を計上いたしましたが、第1四半期の損失を補うまでには至らず、第2四半期連結累計期間では営業損失169百万円、経常損失277百万円、四半期純損失204百万円となりました。

## ■セグメント別概況

### 航空関連事業

航空機・機材関連では、機械・資材・車両の販売などが好調に推移したほか、中古航空機の販売においても前期に比べて取り扱い機数が増加いたしました。大手重工業会社向けの航空機部品販売などが低調に推移したことにより、売上・利益とも前年実績を下回りました。

### コーポレートソリューション事業

印刷・メディア関連では、新規顧客の開拓など精力的なセールス

## ■事業のセグメント情報 (2009年4月1日～2009年9月30日まで)

	売上総利益	前年同期比
航空関連事業	1,478	86%
コーポレートソリューション事業	1,400	77%
トラベルリテール事業	6,776	99%
フーズ・ビバレッジ事業	1,446	107%
各事業の主な商品及び販売形態		
●航空関連事業	航空機、航空機部品、機械、生活資材、客室用品、テキスタイル、衣料制服	
●コーポレートソリューション事業	印刷メディア、保険事業、不動産事業、プロパティマネジメント	
●トラベルリテール事業	機内販売、ブランド・ファッション、通信販売、リゾート事業、地域名産・特産品、飲食・レストラン、空港免税品	
●フーズ・ビバレッジ事業	農水畜産物、加工食品、ワイン、贈答用食品	

に努めましたが、既存法人需要の大幅な落ち込みを補うまでには至らず減収減益となりました。不動産事業については、概ね予定通りの業績で推移いたしました。セグメント合計では減収減益となりました。

### トラベルリテール事業

ブランド・免税品関連では、航空旅客需要の減少を受けて減収減益となりました。通信販売関連では、総じて消費者の買い控え傾向および低価格志向が一段と強まったことなどにより前年実績を下回りました。空港店舗関連では、個人消費の低迷や新型インフルエンザの流行による旅客数減少の影響を受けて減収減益となりました。

### フーズ・ビバレッジ事業

農水産物関連では、高付加価値商材の安定供給や食の安全に対する顧客との強い信頼関係など、長年にわたる地道な取り組みの成果もあって青果物や冷凍水産物の輸入販売が堅調な実績をおさめました。一方、加工食品事業や百貨店を主要販路とする贈答用食品の販売事業においても、厳しい事業環境の下、前年並みの事業収入を確保いたしました。利益面においては企業間競争の激化による収益性の低下などによりセグメント合計では増収減益となりました。

## ■四半期連結貸借対照表

	当第2四半期 2009年9月30日現在	前 期 2009年3月31日現在
資産の部		
流動資産	27,787	29,402
固定資産	13,705	13,496
有形固定資産	6,232	5,683
無形固定資産	1,710	1,927
投資その他の資産	5,762	5,885
資産合計	41,492	42,899
負債の部		
流動負債	17,720	21,287
固定負債	8,721	5,909
負債合計	26,441	27,196

## 純資産の部

株主資本	14,388	15,126
資本金	2,558	2,558
資本剰余金	711	711
利益剰余金	11,216	11,868
自己株式	△97	△11
評価・換算差額等	△486	△605
その他有価証券評価差額金	8	△25
繰延ヘッジ損益	△34	0
為替換算調整勘定	△461	△581
少数株主持分	1,148	1,180
純資産合計	15,050	15,702
負債純資産合計	41,492	42,899

## ■四半期連結損益計算書

	当第2四半期 2009年4月1日～ 2009年9月30日まで	前第2四半期 2008年4月1日～ 2008年9月30日まで
売上高	51,017	57,492
売上原価	39,950	45,786
売上総利益	11,066	11,706
販売費及び一般管理費	11,235	10,798
営業利益又は営業損失(△)	△169	907
営業外収益	94	162
営業外費用	202	83
経常利益又は経常損失(△)	△277	987
特別利益	111	1
特別損失	36	69
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△202	920
法人税等	△4	443
少数株主利益	7	66
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△204	410

## ■四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	当第2四半期 2009年4月1日～ 2009年9月30日まで	前第2四半期 2008年4月1日～ 2008年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	259	203
投資活動によるキャッシュ・フロー	△937	△2,012
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,222	906
現金及び現金同等物に係る換算差額	12	△57
現金及び現金同等物の増減額(△減少)	557	△959
現金及び現金同等物の期首残高	6,091	6,174
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,648	5,214

## ■ 株式情報

発行可能株式総数	20,000,000株
発行済株式総数	12,775,000株
株主数	12,555名

## ■ 大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	出資比率
双日株式会社	3,832	30.0%
株式会社日本航空	2,727	21.4%
東京海上日動火災保険株式会社	412	3.2%
ニッセイ同和損害保険株式会社	392	3.1%
三井住友海上火災保険株式会社	252	2.0%
あいおい損害保険株式会社	189	1.5%
株式会社損害保険ジャパン	189	1.5%
空港施設株式会社	168	1.3%
JALUX社員持株会	166	1.3%
株式会社JALUX	67	0.5%

## ■ 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月中
株主確定基準日	3月31日(定時株主総会・期末配当金)
単元株式数	100株
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先・郵送先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都江東区東砂7丁目10番11号 ☎0120-232-711
公告掲載方法	当社ホームページにおける電子公告

## ■ 株券電子化によるご注意

- 株券電子化に伴い、住所変更などの各種お手続きにつきましては、原則として口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。当社株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 配当金の口座振込のご指定につきましても、口座管理機関にてお手続きいただくこととなりました。詳しくは各口座管理機関にお問い合わせください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店でお支払いいたします。

## ■ 配当金計算書について

本年から、配当金の口座振込をご指定の方と同様に、「配当金領収証」により配当金をお受け取りになる株主様宛にも「配当金計算書」を送付しております。配当金をお受け取りになった後の配当金額のご確認や確定申告の資料としてご利用いただけます。

## ■ 会社概要

商号	株式会社 <b>JALUX</b> (ジャルックス) 【英文名 <b>JALUX Inc.</b> 】
証券コード	2729(東証1部)
設立	1962年(昭和37年)3月28日
資本金	25億5,855万円
従業員数	1,822名(連結子会社1,151名を含む)
国内空港店	羽田、成田、札幌、関西、福岡など25空港96店舗
国内関連企業	(株)JALUXエアポート(空港店舗運営業務)※ (株)JAL-DFS(免税品販売)※ (株)JALUXライフデザイン(介護事業) (株)JALUX保険サービス(保険事業)※ (株)主婦の友ダイレクト(通販事業)※
海外関連企業	JALUX AMERICAS, Inc.(ロサンゼルス)※ JALUX EUROPE Ltd.(ロンドン)※ JALUX ASIA Ltd.(バンコク)※ JALUX HONG KONG Co., Ltd.(香港)※ JALUX SHANGHAI Co., Ltd.(上海)※ JALUX HAWAII, Inc.(ホノルル)

※連結子会社

## ■ 役員

代表取締役会長	愛敬慶成
代表取締役社長	田島伸一
取締役 副社長執行役員	塩野谷住雄
取締役 常務執行役員	浅山得壽
取締役 常務執行役員	正田克彦
取締役 常務執行役員	平井淳
取締役 常務執行役員	横尾昭信
取締役(社外)	大村義朗
取締役(社外)	高橋淑夫
監査役	坂本敏男
監査役	大村善博
監査役(社外)	岩井幸司
監査役(社外)	石澤照久
常務執行役員	山口俊朗
常務執行役員	山本雅之
執行役員	安孫子正行
執行役員	武田裕
執行役員	寺本久男
執行役員	石川龍三
執行役員	渡辺耕士



JALUX のホームページでは、株主・投資家情報やニュースメールサービスなどをご提供しています。

[www.jalux.com](http://www.jalux.com)



株主・投資家情報



IR ニュースメール



JAL ショッピング  
[www.shop.jal.co.jp](http://www.shop.jal.co.jp)

マイルがたまる  
ショッピングサイト



決算発表など JALUX のニュースリリースを、パソコンの e メールでタイムリーにお知らせいたします。ぜひご利用ください。



## 株主優待について

毎年3月末および9月末現在、100株以上所有の株主名簿記載の株主の皆様へ、次の通り JALUX 株主優待商品券を進呈いたします。

株数	商品券枚数	3月末		9月末		年間優待額
		3月末	9月末	3月末	9月末	
100株以上 (500株未満)	2枚	2枚	2枚	4,000円		
500株以上 (2,000株未満)	4枚	4枚	4枚	8,000円		
2,000株以上 (4,000株未満)	7枚	7枚	7枚	14,000円		
4,000株以上 (6,000株未満)	10枚	10枚	10枚	20,000円		
6,000株以上 (10,000株未満)	12枚	12枚	12枚	24,000円		
10,000株以上	14枚	14枚	14枚	28,000円		

## カタログ通販で使えます!

JAL World Shopping Club  
[ジャル・ワールド・ショッピングクラブ]

人気商品!



## 空港内の店舗で使えます!

BLUE SKY  
[ブルースカイ]

JAL-DFS  
[ジャル・ディーエフエス]



※株主優待制度(店舗所在地等を含む)は、各種要因により変更となる場合がございますので、あらかじめご留意くださいますようお願い申し上げます。